

学生大使 実施報告書

氏名:重田伊吹

学部・学科(コース):工学部 建築・デザイン学科 学年:2

派遣先大学:ベトナム国家農業大学

派遣期間:2/25~3/11

1 日本語教室での活動内容

日本語教室を開催しているベトナム人の先生が日本語のテキストを準備しており、そのテキストを行っていた男の子の採点や解説を主に行った。漢字の練習や熟語の意味の選択、文章題の読解などがテキストの主な内容であった。テキストをある程度行った後に少しの間休憩があり、その時間で男の子が作ってきた日本語での質問に答えた。質問の内容は日本での一般的な生活についての質問が多かった。男の子の妹である子はまだひらがなを学んでいるところであったが、日本語教室に参加しているほとんどのベトナムの方はひらがなを読むことができた。また問題集を使って日本語を教えるだけでなく、かるたを行ったり、折り紙や絵しりとりなどの日本の遊びを行ったりしながら日本語を教えた。かるたはひらがなが分かれば札を取ることができるので、日本人とベトナム人で互角に遊ぶことができた。また、絵しりとりは絵で分かりやすく日本語の単語を教えることができてよかった。

2 日本語教室以外での交流活動

英語教室でもベトナムの方々と交流した。英語教室では、日本の文化やベトナムに来てからの生活を大学の学生と英語で話して交流した。私は英語が苦手なので心配だったが、学生の方々が質問を積極的に投げかけてくれ、会話を続けることができた。ベトナムでも色々な日本のアニメが知られており、ジブリやドラえもんの話をする则会話を盛り上げることができた。また授業の最後には簡単な日本語を教えた。英語を使って日本語を教えることは初めてであったが、簡単な日本語であったので伝えることができた。

また、ひなたクラブでの日本語教室のほかにも、技能実習生に向けた日本語教室が大学で行われており、その授業にも参加した。この授業の参加者はひなたクラブの方々と違い、ひらがなや簡単な日本語もわからない人がほとんどで日本語を教えることが難しかった。英語も伝わらなかったのも、日本語をうまく教えることができなかった。この日本語教室では主に日本の歌と一緒に歌ったり、簡単な質問に答えたりした。出身地やベトナムでおいしかった食べ物の質問は、画像を見せることで伝えることができた。

3 参加目標への達成度と努力した内容

私たちがサポートしてくれたベトナムの学生たちが簡単な日本語と英語を理解してくれたので、積極的に話すことができた。言語があまり伝わらない状態では目標にしていた、ベトナムの人たちと積極的にかかわって会話をするということは達成できなかったであろう。お互いに言葉で伝えることが難しいときはスマートフォンで翻訳して伝えるなど、積極的に会話を行おうとした。本やネットで調べて知る

【学生大使 実施報告書】

ようなベトナムのことではなく、現地で生活している人が知っているような情報を会話から知ることができて興味深かった。また、日本と異なる習慣などを見たときにはすぐ写真をとって記録に残すようにしていたため、あとで確認できるように記録を残しておくという目標も達成できた。普段街中を歩きながらも住宅や学校、寺院の建築様式にも注意して歩いた。日本と同じように土足禁止の店があることに驚いた。また、日本語教室の先生のお宅にお邪魔させていただいたときに、玄関からすぐにリビングが広がっているという間取りにも驚いた。日本と異なる建築様式についても学ぶことができ、目標としていたことを大方達成することができた。

4 プログラムに参加した感想

私はとても臆病なので友達からの誘いがなければ自分からこのプログラムに参加しなかったと思う。誘われてもなお悩んでいたが、参加者の話を聞いて、臆病で挑戦することが苦手な自分を少しは変えられるのかもしれないと勇気を出してこのプログラムに参加した。そして本当にこのプログラムに参加してよかったと感じている。まず私は2週間も家族以外の人と24時間をともに過ごすということが初めてであった。海外に行くという以前にあまり知らない人と長い時間を過ごすというのも不安の一つであった。しかし2週間というのは思っていたよりも短いもので、大きなトラブルもなくプログラムを終えることができた。このプログラムに参加してよかったと一番感じたことは、観光として訪れたときには体験できないような体験ができたことだ。観光として行ったら、ホテルに泊まり、下町のようなベトナムの人々の普段の生活を近くで感じられなかったと思う。学生の方たちに教えられたお店も、ガイドブックを見ただけでは行けないような店であったり、洗濯をするのに町の洗濯屋のような場所に連れて行ってもらったりして、ベトナムの人々の普段の生活を感じられたのがよかった。何気なく水を買いに店に入っただけでも、日本では見たことのないような食べ物が売られているのを見ることができて面白かった。またベトナムの人は思っていたよりも日本語を知っているひが多く、こちらが日本人だとわかると日本語で話しかけてくれる人がいたのが嬉しかった。外国人には基本冷たいものだと考えていたため、町の人が親切な人ばかりなことが本当にうれしかった。

5 今回の経験を踏まえた今後の展望

今回のプログラムを通していろんなことに挑戦するハードルが下がったような気がする。この2週間のベトナム生活は私にはとてもハードルの高いものに見えていた。しかしこの2週間の生活を乗り切ることができ、自分への大きな自信となった。自分には無理だろうとあきらめてきたことが過去に多くあったが、これからはこの自信もとに他のいろいろなことに挑戦していきたい。

6 現地での活動写真

写真1

生春巻きを食べる



写真2

ホーチミン廟



写真 3

英語教室



写真 4

アオザイ

